

雫石町消防団ビジョン（案）【概要版】

第1章

雫石町消防団ビジョンの趣旨

消防団を将来にわたり維持していくため、ビジョンにより、

- ・将来像、役割を明確化する
- ・団員の安全を確保しながら活動しやすい体制づくりをする
- ・多様化する災害に対応する

雫石町消防団ビジョンの期間

- ・期間は10年を目安、都度見直し
- ・検討協議会（団、県、常備消防、有識者）による改訂

第4章

消防団を取り巻く課題

1. 団員数の減少

社人研人口推計により、R6：254人→R17：146人

6人を下回る部が発生することが予想される

2. 施設の老朽化

屯所17施設、車両18台 更新する際は多大な経費が発生

3. 多発する自然災害

大雨災害、火災災害、地震災害、火山災害

第5章

雫石町消防団の将来像

将来像：『消防団とその家族がやりがいと誇りを持ち、

将来にわたり持続可能な消防団』

役割：・常備消防と連携した消火活動と火災予防活動の実施

・地域防災リーダーとして、地域に密着した防災活動の実施

第6章

将来像を実現するための取り組み

取り組み方針	取り組み項目	具体的な取り組み
団員の確保と団組織の運営	団員確保の取り組み	団員勧誘と協力企業への働きかけ、行事見直しによる負担軽減、広報強化、団員支援、報酬見直し
	持続可能な組織体制	部統合と班体制、コミュニティとしての団維持、新たな部隊検討、本部整備、相談体制整備
団員の消防技術、地域防災力の向上	消防技術の向上	実践的な訓練実施、研修の実施
	地域防災力の向上	防災研修実施、地域防災拠点機能の発揮
消防施設等の計画的な整備	屯所整備方針	部統合に合わせた屯所、車両の整備年次方針
	車両整備方針	針による計画的な整備・更新
	装備品整備方針	装備品、資機材の計画的な更新

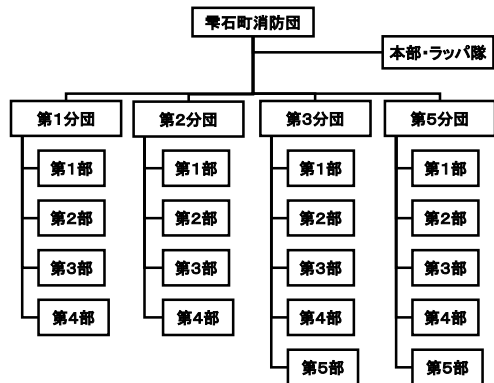
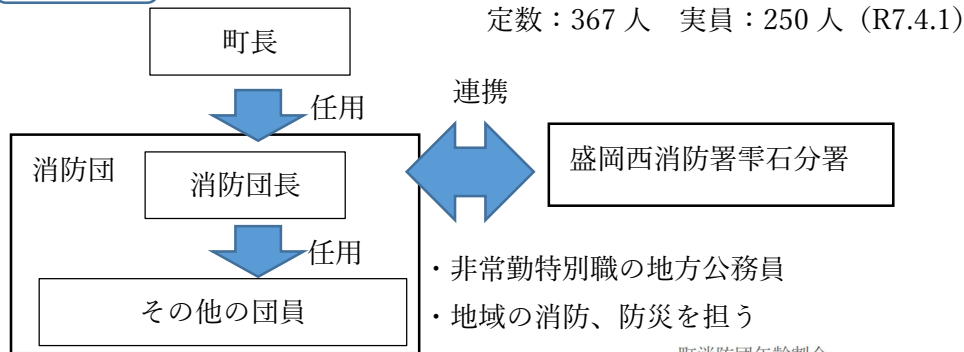
第2章

町の状況

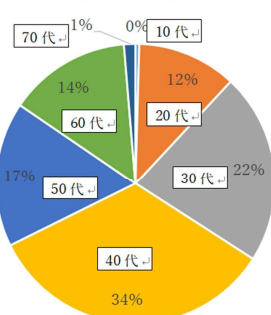
第3章

雫石町消防団の現状

定数：367人 実員：250人（R7.4.1）



町消防団年齢割合



■ 10-19 ■ 20-29 ■ 30-39 ■ 40-49 ■ 50-59 ■ 60-69 ■ 70-79